

科目名	歴史総合	学科・学年・学級	普通科・1学年・全クラス
		単位数	2単位（週2時間）
使用教科書・副教材等		[教科書] 明解 歴史総合（帝国書院）	
		[副教材] 明解 歴史総合図説 シンフォニア（帝国書院）	

### 1 学習目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を学びます。</li> <li>○ 諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けます。</li> <li>○ 歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養います。</li> <li>○ 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養います。</li> </ul>
---

### 2 学習方法

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史総合の学習とは、細かな年代や人名を覚えることではありません。基本的な事項を押さえながらそれぞれの出来事にはどのような背景があるのか、他とどのような関わりを持っているのか、日本とのつながりを含めて、世界史の中でどのように位置付けられるのかなど常に意識しましょう。</li> <li>○ 歴史総合では、世界の様々な地域の地理的な理解が必要となります。必ず授業の前までに、学習する地域が世界の中でどのあたりに位置するかを予習して授業に臨みましょう。</li> <li>○ 歴史は過去の出来事にすぎないと思われるかもしれませんが、その内容は、他の教科や科目の学習内容と関連したり、現在世界で起こっているさまざまな出来事と密接に結びついています。授業だけに捕らわれることなく、新聞やテレビニュースを見たり聞いたりして、興味や関心を広げてみましょう。</li> </ul>
---

### 3 学習評価

#### (1) 評価の観点・趣旨・方法

観 点	趣 旨	評 価 の 方 法
知識・技能	近現代の歴史の変化に関わる事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業プリント</li> <li>・質問に対する発表やグループトークの内容</li> <li>・課題プリントの提出状況と内容</li> </ul>
思考・判断・表現	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期考査</li> <li>・授業プリント</li> <li>・質問に対する発表やグループトークの内容</li> <li>・課題プリントの提出状況と内容</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への取り組み方や態度</li> <li>・授業プリント</li> <li>・課題プリントの提出状況と内容</li> </ul>

#### (2) 各学期及び学年末の評価

各学期の評価は、定期考査、小テスト、プリントや課題の提出状況、授業態度・出席状況、授業中の発表などを総合して行います。

学年末の評価は、1・2・3学期の評価を平均することにより行います。

#### 4 学習のポイント

- 授業が最も大切です。予習をして授業に臨み、その日のうちに必ず復習をすることを心掛けましょう。
- 教科書や副教材などの写真や資料などでイメージを膨らませてみよう。また、地図で場所をしっかりと押さえておくことも重要です。有効に活用しましょう。
- 活発な発言や質問を通して積極的に歴史総合の授業に参加しましょう。「なぜ」「どうして」という疑問をふくらませ、歴史的視点から考える習慣を身に付けると、歴史総合の学習が楽しくなります。

#### 5 学習計画（予定）

月	学 習 項 目	学 習 の ね ら い ・ 活 動
4	「歴史総合」の学習について	・「歴史総合」の学習について、その意義や学習内容の概要、評価の方法などについて説明します。
	1部 歴史の扉	
	1章 歴史と私たち	・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸現象を基に、それらが日本や世界の歴史とつながっていることを学習します。
5	2章 歴史の特質と史料	・複数の資料の関係などに着目し、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを学習します。
	2部 近代化と私たち	
	1章 江戸時代の日本と結びつく世界	・アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易を基に、17～18世紀の経済と社会について学習します。
6	2章 欧米諸国における近代化	・18世紀以降の欧米の市民革命や国民統合の動き、また、産業革命と交通・通信手段の革新などを基に、工業化と世界市場の生成について学習します。
7	3章 近代化の進展と国民国家形成	・国民国家や政治変革の特徴や、帝国主義政策の背景、さらに帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響について学習します。
9	4章 アジア諸国の動揺と日本の開国	・欧米列強がアジア各地に進出していく中で、19世紀の東アジアがどのような変化を遂げてきたのかを学習します。
	5章 近代化が進む日本と東アジア	・日本における立憲体制と国民国家の形成や、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を学習します。
10	3部 国際秩序の変化や大衆化と私たち	
	1章 第一次世界大戦と日本の対応	・第一次世界大戦の展開や性格、参戦、またソヴィエト連邦の成立について学びます。
11	2章 国際協調と大衆社会の広がり	・日本とアジア及び太平洋地域の関係や国際連盟の成立、アメリカ合衆国の台頭などを基に、戦後の国際協調体制を学習します。
	3章 日本の行方と第二次世界大戦	・世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際協調体制の動揺と第二次世界大戦の推移について学習します。
12	4章 再出発する世界と日本	・第二次世界大戦後の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢について学習します。
	4部 グローバル化と私たち	
1	1章 冷戦で揺れる世界と日本	・冷戦が各国に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などについて学びます。
2	2章 多極化する世界	・冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などについて学びます。
3	3章 グローバル化のなかの世界と日本	・冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響に着目し、冷戦後の国際政治の特徴と日本の役割などについて学習します。